

会員投稿「ウィンブルドン旅行顛末記（その1）」

2025年6月30日から7月13日にロンドン（イギリス）で開催されたグランドスラム「ウィンブルドン」に名ク会員の中村光治さんご夫婦が招待されて観戦に行かれました。

セネガルでの中村さんの妹さんとプロテニスプレーヤーを目指す少年との出会いから始まった今回の心温まるエピソードとウィンブルドンについての最新の現地情報について、中村光治さんに寄稿をお願いしました。数回に分けて名クHPのNEWSに掲載します。

1877年に始まった世界最古のテニス大会であるウィンブルドンは、イギリス・ロンドンのウィンブルドンにあるオールイングランド・ローンテニス・アンド・クローケー・クラブで開催されるグランドスラム（テニス4大大会）の一つです。

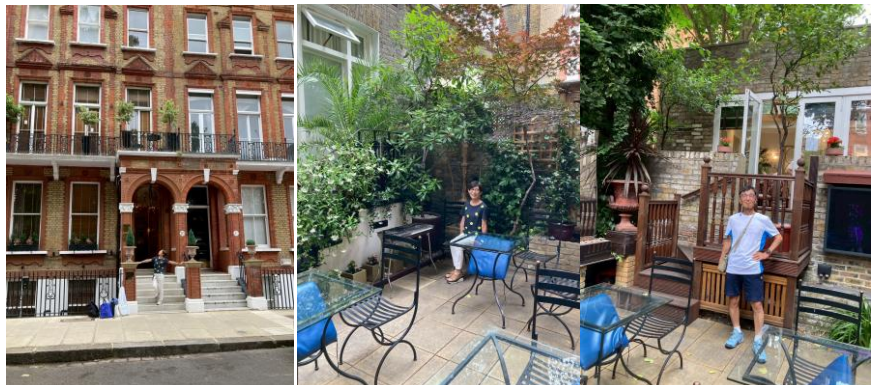
ウィンブルドン旅行顛末記

～その1（ウィンブルドンへの道案内）～

中村光治

2025年7月3日（木）から8日（火）までの旅程でウィンブルドン観戦に行く機会を得ましたので今回は体験したことを元に会場の紹介などをさせていただきます。

ウィンブルドン（Wimbledon）はロンドン中心部から南西へ約12キロメートルの距離にある豊かな緑に恵まれた高級住宅街のある地区の名称で、テニス会場の正式名称はオールイングランド・ローンテニス・アンド・クローケー・クラブと言います。会場に行くのには地下鉄（イギリスではTubeと言い、Subwayは地下道（歩行者トンネル）の意味になるそうです）が便利です。地下鉄に乗るには、乗車前に自動販売機で日本語を選択してオイスターカードと呼ばれるマナカなどに相当する交通カードを20ポンド程度購入します。（当時1ポンドは約200円で各種カード払いOKでした。また初回購入時には+7ポンド必要です。）クレジットカードはVISAやMASTERCARDが使いやすいと現地の人に聞きましたが、アメックスカードも十分に使えました。ロンドンの地下鉄は全11路線、272駅と多岐に張り巡らされており、我々はロンドン在住の日本人のアドバイスでヒースロー空港（Heathrow Terminals2&3 発）から乗り換え無しのピカデリー線で、ロンドン中心部手前のアールズコート駅（空港から12駅約30分）近くのホテルを取り、そこに4泊5日滞在しました。



そこから会場に行くには、ウィンブルドン駅（終点）行きのディストリクト線に乗りますが、会場への最寄り駅は終点の 2 つ手前のサウスフィールズ駅ですのでこの点だけはくれぐれも注意が必要です。行先の異なる電車も次々と入ってきますので、乗車前に行先と何駅目かをきちんと確認して乗車してください。アールズコート駅からサウスフィールズ駅までは 6 駅でとても便利で、車内の電光掲示板での案内もとても見やすく安心できました。



駅から会場までは 1 キロ余り、徒歩 15 分ほどありますが、大勢の人が歩いているので方向を間違えることは無いと思います。（左：サウスフィールズ駅の写真）

次に肝心のチケットの入手方法についてご案内します。

1. 抽選に応募する

当選するとチケットを入手できますが、前年の 12 月末までに応募したり、日程を指定できなかったり、当選確率は低いです。

2. 公式オンライン販売で買う

チケットマスターというサイトで、センターコートと No2 コートまでのチケットを買うことができます。但し、発売は試合前日の午前 9 時で、発売数も数百枚なので超激戦。ほぼサイトにつながらないといわれております。

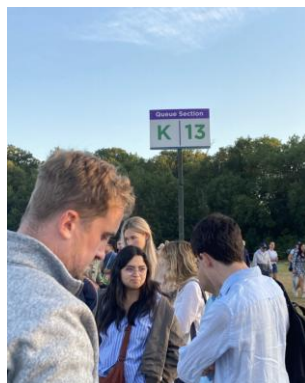
3. 列に並ぶ（The Queue ザ・キュー）

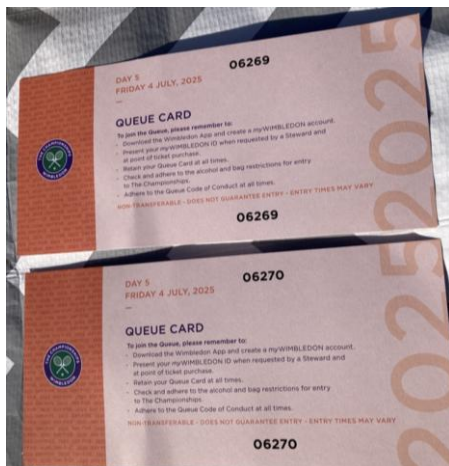
ウィンブルドンでは、毎日一定数の指定席と自由席を当日券として販売しており、Queue（キュー）と呼ばれる列に並ぶことによって当日券を手に入れることができます。センターコートと No1 コート、No2 コートが指定席となっており、それぞれ 500 枚、それ以外の No3 以下のすべてのコートを観戦できる自由席が Grounds Ticket(グラウンドチケット)といって 5~6000 枚ほど発売されます。（屋根付きのコートはセンターコートと 1 番コートの 2 つです）（3 番コートや 12 番、18 番コートは指定席と自由席が混在しているようです）

並ぶ場所は Wimbledon Park ウィンブルドンパークという会場の隣の広大な芝生の広場で、指定席希望の人は、前日の夕方から自由席希望の人が並ぶのとは別の定められた場所にテント持参で、オーバーナイトで並ぶことになりますが、この辺の事情には先輩の近藤宏氏が詳しいのでそちらにお尋ねください。我々は 7 月 6 日（日）の No1 コートと No3 コートの指定席をプレゼントされており、7 月 5 日（土）はウィンブルドン周辺の有名テニスクラブの見学や天然芝でのテニスプレーを約束していたので、二人だけで 7 月 4 日（金）に自由席の購入にチャレンジしました。

早朝 5 時の始発に乗って我々が会場に付いた時にはすでに当日券を求める数千人の人たちが列をなしていました。K13 との立札のある最後尾に付き

（右：K13 写真）周囲の人々の真似をして、ビニールシートを出してくつろぐことにしました。しばらくするとスチュワードと呼ばれるボランティアの係の人から番号の書かれた Queue Card（整理券）が渡されました。





※資料出典：QUEUE CARD

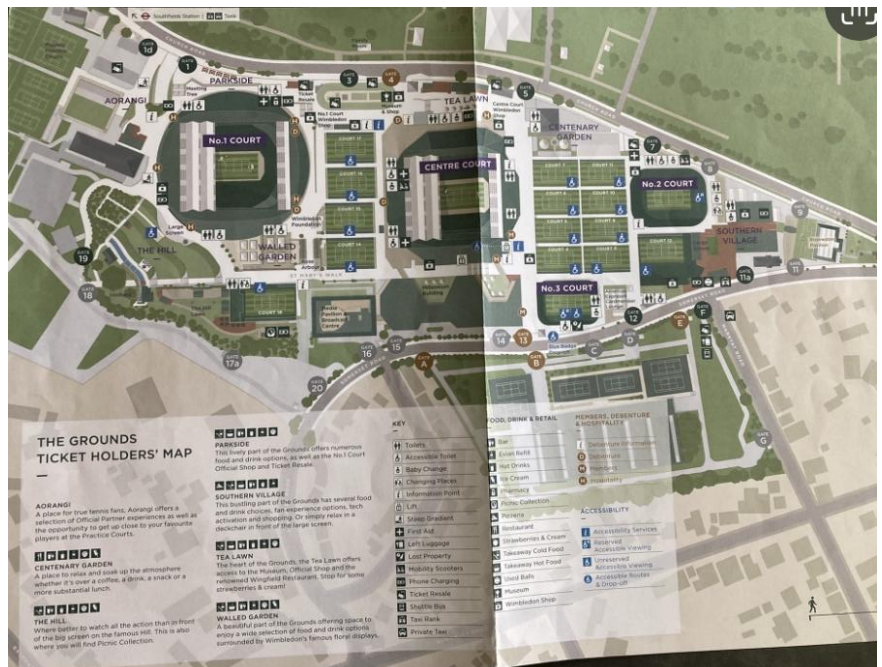
二人の番号は6269番と6270番(左:QUEUE CARD)と目標だった5,000番を超えていたので今日は入場できるのかしらと少し不安になりましたが、あとからあとから人数は増えてきて、結局7時間ほど待たされてお昼ごろには入場できました。(最初の人開場時間の10時頃には入場できたようです。整理券を貰ったあとは交代でトイレに行ったり、食べ物を買に行ったりもできます。)



※資料出典：WIMBLEDON 2025 COURT Grounds Pass

The Queue には A GUIDE TO QUEUEING という 30 頁ほどのガイドブックがありチケット入手までの細かいルールなどが記載されています。(この入手方法は不明でしたが、指定席目当てのテント持参の宿泊組には配られるのかなと思いました。)

お昼過ぎに一人 30 ポンドで無事当日券を手に入れた我々（以前は現金のみだったそうですが、これもカード支払いがOKでした）が 3 番ゲートから会場内に入場した時は、モニターに大坂なおみさんの第 2 ラウンドの試合が映し出されており、急いで応援に行く間も無く、負けてしまいました。(涙)
(次回、ウィンブルドン会場案内に続く)



※資料出典：A GUIDE TO QUEUEING
：THE GROUNDS TICKET HOLDERS' MAP

掲載期限 2025 年 10 月末